

成長戦略によるESG課題の解決

成長戦略によるESG課題の解決

CSR重点分野と中期経営計画のKPI

コマツは、2019年度に公表した中期経営計画において成長戦略3本柱を通じたESG課題の解決を目指しています。気候変動に対応した環境負荷低減の取り組みや、安全に配慮した高品質・高効率な商品・サービス・ソリューション提供などの本業

を通じて、ESG課題の解決を実現し、当社の目指すべき姿である「ESG課題の解決と収益向上の好循環による持続的成長」を図ります。中期経営計画を着実に遂行していくために、成長戦略3本柱との関連性を分析し、KPIを設定しています。

CSR重点分野	成長戦略3本柱によるESG課題の解決	SDGsとの関係	中期経営計画での重点活動キーポイント	2019年度KPI実績	2021年度KPI
生活を豊かにする — 社会が求める商品を提供する —	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能なインフラ整備と資源開発および循環型の地球環境保全(リマン・林業)に貢献する商品・サービス・ソリューションの提供 自動化などのイノベーションを通じたバリューチェーン全体での生産性向上・効率化、安全確保、環境負荷低減(CO₂排出削減、再生可能エネルギー比率の向上) 技術と信頼性を持って、よりよい地球と未来を実現するダントツバリュー(顧客価値創造・最大化)の追求 	   	<p>CO₂排出削減(2010年度比)</p> <ul style="list-style-type: none"> 製品使用によるCO₂削減(低燃費建機、ハイブリッド、スマートコンストラクション普及率、ICT施工高度化、マイニング自動化、坑内掘り化) 生産によるCO₂削減(地球・作業環境負荷ゼロ工場) <p>地球・作業環境負荷ゼロ工場</p> <ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギー使用比率(含む再生可能エネルギー購入) 作業環境負荷指数の低減(粉塵濃度) 水使用量の削減 <p>バリューチェーン改革/アフターマーケット再定義</p> <ul style="list-style-type: none"> 補給部品売上げの拡大 リマニュファクチャリング(リマン)コンポーネント寿命時間向上(対新品コンポーネント) <p>鉱山オペレーションにおける安全性と生産性の保証</p> <ul style="list-style-type: none"> AHS配車台数(鉱山プラットフォームビジネス促進) <p>ダントツ商品・ダントツサービス・ダントツソリューション提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ICT建機の導入拡大(米・欧・豪) スマートコンストラクションの導入拡大 自動化・自律化・電動化・遠隔操作化 ①建設機械の自動化 ②鉱山機械の自動化・自律化・遠隔操作化 ③ユーティリティの自動化 ④鉱山機械・坑内掘り(ハードロックビジネス)の強化 <p>農業分野のソリューション、スマート林業等</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業分野における建機需要の創出 スマート林業の普及(プロジェクト件数) <p>IoT/ICTによる業務改革</p> <ul style="list-style-type: none"> KOM-MICSプラットフォームビジネス(生産設備の稼働状況の見える化) <p>生産性・技能レベルが高く、多様な人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 会社へのエンゲージメント向上 多様で柔軟な働き方の拡大による業務プロセス改革の促進 コマツウェイの推進(国内外でのコマツウェイ実践活動) <p>持続可能な現場の実現を支援するダイバーシティ・グローバル人材の強化と育成</p> <ul style="list-style-type: none"> グローバル経営における日本の役割の見直し グローバル人事施策の基盤整備(システム・仕組み) 女性活躍(①単独女性社員比率、②単独女性管理職比率、③国内女性管理職比率) 障がい者雇用(国内法定雇用率の順守) 雇用創出のための地域人材育成支援(カミンズ社との地域人材育成プログラム推進) <p>バリューチェーン横断型人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> スマートコンストラクション・コンサルタント育成(建設現場全体の生産性・安全性向上のため、ICTを活用した課題解決を提案) <p>ステークホルダーとの協業による社会的課題の解決</p> <ul style="list-style-type: none"> お客さまとの関係構築推進 株主・個人投資家(株主説明会、株主工場見学会、個人投資家説明会) 機関投資家(ESG説明会) 地域社会(事業所フェア) 社員(社員ミーティング) <p>コーポレート・ガバナンス、コンプライアンスの徹底、人権の尊重などの責任ある企業行動</p> <ul style="list-style-type: none"> 労働安全衛生、協力企業の環境・安全体制の整備支援、コーポレートガバナンス・コードへの対応(コーポレートガバナンス報告書)、取締役会の実効性評価、内部統制、内部監査 	<p>△14%</p> <p>△31.5%</p> <p>10.7%</p> <p>△10.7%</p> <p>△49.4%</p> <p>3%増</p> <p>26,866h(対新品1.34)</p> <p>221台</p> <p>1,361台</p> <p>2,440現場</p> <p>ユーザーサイトでの検証実施</p> <p>鉱山ブルドーザー(レベル2)市場導入に向け準備中</p> <p>自動化に向けた周囲安全技術の確立</p> <p>開発中</p> <p>日本: 農業法人5社で実証試験開始 インドネシア: D31PLL農業ブルドーザー量産販売開始</p> <p>10件</p> <p>865台</p> <p>20年度実施予定</p> <p>①1,950H/人・年 ②トライアル開始19/8~ ・教育時間 31,625時間(人・時間) ・受講人数 国内1,461人 海外307人</p> <p>国内人事制度改定に着手</p> <p>具体的導入準備</p> <p>①12.3% ②7.2% ③4.5%</p> <p>2.58%(単独)</p> <p>・チリ人材育成プログラム立上 ・ペルー、南アフリカ、オーストラリアでの支援継続 ・受講生の雇用実績把握</p> <p>396名</p> <p>最新ツールを国内顧客との活動で検証、各地域への普及活動も推進</p> <p>・個人株主説明会 2回/年 ・株主向け見学会 10回/年 ・個人投資家説明会 7回/年 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一部の見学会・説明会を中止</p> <p>11件(ESGに関する面談)</p> <p>9工場(栗津、大阪、茨城、金沢、栃木、小山、郡山、湘南、氷見)のうち、湘南のみ台風19号の影響で中止</p> <p>34回(国内30、海外4)</p> <p>人権に関する方針を定め、統合報告書で開示等</p>	<p>△16%(対2010年度比)</p> <p>△40%(対2010年度比)</p> <p>15%</p> <p>△30%(対2018年度比)</p> <p>△55%(対2010年度比)</p> <p>11%増</p> <p>20,000h(対新品1.0)</p> <p>380台(累計)</p> <p>1,590台(単年)</p> <p>4,850現場(単年)</p> <p>油圧ショベル自動積み込みテスト導入</p> <p>鉱山ブルドーザー(レベル4)市場導入</p> <p>フォークリフトの自動化技術確立</p> <p>商品系列拡大</p> <p>国内: 農業ローダー機種拡大 インドネシア: 農業ブルドーザーの農法のユーザー拡大</p> <p>50件</p> <p>1,900台(社内導入含む)</p> <p>グローバルベースの調査・指数向上</p> <p>総労働時間2,100h未満/テレワーク導入(国内)</p> <p>教育時間、受講人数</p> <p>プロジェクト・改善活動人員シフト/ 機能部門ごとに組織をグローバル化</p> <p>システム導入</p> <p>①12.5%、②10.0%、③5.0%</p> <p>2.3%(予定法定雇用率)以上</p> <p>チリ、オーストラリア、南アフリカほか</p> <p>430名(累計)</p> <p>ブランドマネジメント活動/ 顧客価値創造活動の推進</p> <p>開催回数(実数)</p> <p>開催回数(実数)</p> <p>9工場とも1回/年</p> <p>開催回数(実数)</p> <p>各種法令や社会的要求に応じた持続的改善</p>
	人を育てる	<ul style="list-style-type: none"> 生産性・技能レベルが高く、多様な人材育成 持続可能な現場の実現を支援するダイバーシティ・グローバル人材の強化と育成 バリューチェーン横断型人材の育成 		<p>グローバル経営における日本の役割の見直し</p> <p>グローバル人事施策の基盤整備(システム・仕組み)</p> <p>女性活躍(①単独女性社員比率、②単独女性管理職比率、③国内女性管理職比率)</p> <p>障がい者雇用(国内法定雇用率の順守)</p> <p>雇用創出のための地域人材育成支援(カミンズ社との地域人材育成プログラム推進)</p> <p>バリューチェーン横断型人材の育成</p> <p>スマートコンストラクション・コンサルタント育成(建設現場全体の生産性・安全性向上のため、ICTを活用した課題解決を提案)</p> <p>ステークホルダーとの協業による社会的課題の解決</p> <p>お客さまとの関係構築推進</p> <p>株主・個人投資家(株主説明会、株主工場見学会、個人投資家説明会)</p> <p>機関投資家(ESG説明会)</p> <p>地域社会(事業所フェア)</p> <p>社員(社員ミーティング)</p> <p>コーポレート・ガバナンス、コンプライアンスの徹底、人権の尊重などの責任ある企業行動</p> <p>労働安全衛生、協力企業の環境・安全体制の整備支援、コーポレートガバナンス・コードへの対応(コーポレートガバナンス報告書)、取締役会の実効性評価、内部統制、内部監査</p>	<p>20年度実施予定</p> <p>①1,950H/人・年 ②トライアル開始19/8~ ・教育時間 31,625時間(人・時間) ・受講人数 国内1,461人 海外307人</p> <p>国内人事制度改定に着手</p> <p>具体的導入準備</p> <p>①12.3% ②7.2% ③4.5%</p> <p>2.58%(単独)</p> <p>・チリ人材育成プログラム立上 ・ペルー、南アフリカ、オーストラリアでの支援継続 ・受講生の雇用実績把握</p> <p>396名</p> <p>最新ツールを国内顧客との活動で検証、各地域への普及活動も推進</p> <p>・個人株主説明会 2回/年 ・株主向け見学会 10回/年 ・個人投資家説明会 7回/年 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一部の見学会・説明会を中止</p> <p>11件(ESGに関する面談)</p> <p>9工場(栗津、大阪、茨城、金沢、栃木、小山、郡山、湘南、氷見)のうち、湘南のみ台風19号の影響で中止</p> <p>34回(国内30、海外4)</p> <p>人権に関する方針を定め、統合報告書で開示等</p>
社会とともに発展する	<ul style="list-style-type: none"> ステークホルダーとの協業による社会的課題の解決 コーポレート・ガバナンス、コンプライアンスの徹底、人権の尊重などの責任ある企業行動 	 	<p>お客さまとの関係構築推進</p> <p>株主・個人投資家(株主説明会、株主工場見学会、個人投資家説明会)</p> <p>機関投資家(ESG説明会)</p> <p>地域社会(事業所フェア)</p> <p>社員(社員ミーティング)</p> <p>コーポレート・ガバナンス、コンプライアンスの徹底、人権の尊重などの責任ある企業行動</p> <p>労働安全衛生、協力企業の環境・安全体制の整備支援、コーポレートガバナンス・コードへの対応(コーポレートガバナンス報告書)、取締役会の実効性評価、内部統制、内部監査</p>	<p>最新ツールを国内顧客との活動で検証、各地域への普及活動も推進</p> <p>・個人株主説明会 2回/年 ・株主向け見学会 10回/年 ・個人投資家説明会 7回/年 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一部の見学会・説明会を中止</p> <p>11件(ESGに関する面談)</p> <p>9工場(栗津、大阪、茨城、金沢、栃木、小山、郡山、湘南、氷見)のうち、湘南のみ台風19号の影響で中止</p> <p>34回(国内30、海外4)</p> <p>人権に関する方針を定め、統合報告書で開示等</p>	<p>ブランドマネジメント活動/ 顧客価値創造活動の推進</p> <p>開催回数(実数)</p> <p>開催回数(実数)</p> <p>9工場とも1回/年</p> <p>開催回数(実数)</p> <p>各種法令や社会的要求に応じた持続的改善</p>